科目名	医療概論 Outline of Medicine	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1	開講区分 曜日・時限	前期

【授業の学習内容】

日本の医療システムや医療を求める人々の心を知り、「病」とは「医学」とは「医療」とは何かの原点より、医学・医療の歴史を学び、現代の医療制度を理解し、医療行為としての鍼灸をいかに社会に役立てていくかについて学習する。
医療従事者として鍼灸施術を行うために社会保障制度や職業倫理についても学習し、鍼灸施術が社会的資源として活用できるよう知識を養う。

【到達目標】

① 医学と医療の歴史について理解する。
② 日本の医学と医療の歴史について理解する。
③ 現代の医療制度を理解する。
④ 健康の概念、医の倫理について説明できる。
⑤ 医療の質と安全性、医療事故と責任について理解する。
⑥ QOLとヘルスプロモーションについて理解する。
上記を踏まえ、医療の現状と問題点などについて論ずることができる。

授業計画・内容	
1回目	病とは、医療とは、医学とは何か、日本の多元的医療システムについて説明することができる。
2回目	古代医学・医療の変遷、歴史を説明することができる。
3回目	中世、ルネサンス医学について 特徴について説明することができる。
4回目	17世紀～近代医学について 特徴について説明することができる。
5回目	古代インド医学について 特徴について説明することができる。
6回目	中国医学について 特徴について説明することができる。
7回目	古代～中世の医学について 特徴について説明することができる。
8回目	中世～近世の医学について 特徴について説明することができる。
9回目	近代（現代）医学と東洋医学について 特徴とその違いについて説明することができる。
10回目	医療従事者、医療施設について 定義と現状について説明することができる。
11回目	国民医療費について 概要および変遷、問題点について説明することができる。
12回目	医療、介護保険について 公的医療負担、介護保険制度について説明できる。
13回目	医療従事者の倫理と患者の権利について 医療倫理、患者の権利について説明することができる。
14回目	生命倫理について バイオエシックスの課題について説明することができる。
15回目	施術者としての倫理について
準備学習 時間外学習	事前準備　授業開始前に教科書該当する項目を熟読すること 時間外学習　授業での内容を毎回、まとめておくこと
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

【使用教科書・教材・参考書】 教科書　医療概論　中川米造監修　医歯薬出版株式会社ISBN 978-4-263-24100-4
参考書　医療原論　渡邉勝之編著　医歯薬出版株式会社ISBN978-4-263-24269-8